新品種・新技術の確立 支援事業 取組概要 (H30~H31)

『新たなトレンドへの対応を目指した新規花き品目産地化の取組』

=宮崎県=

【全体概要】

ここ数年、花き流通のトレンドに変化が見られ、マーケットからはトレンドに合った品目の供給が求められており、ラナンキュラス 「ラックス」シリーズや切り花サイネリアといった県内育種家が育成した品目の県内産地化が期待されている。 そこで、当該品目の県内産地化に向けた試験栽培等を行うことにより、マーケットニーズへの対応を目指す。

新品種・新技術等の概要

〇ラナンキュラス「ラックス」シリーズ (有)綾園芸により開発された品種で あり、長野県や大分県など一部地域に おいて普及しているものの、本県にお いては普及していない。



〇切り花サイネリア

本県育種家が育成した鉢物用サイネ リアの切り花化に宮崎県総合農業試 験場が成功したことから、今後の産地 化が期待される。



主な取組内容

【検討会の開催】

- ・実証ほ設置検討会(1回)
- 実証ほ現地検討会(1回)

【マッチング活動の実施】

- マッチング等検討会(1回)
- マーケット意見交換会(1回)

実施体制図

【協力農家】

・実証ほ栽培管理 ・各種データ記帳等

情報共有

・実証ほの運営管理

【普及センター(産地指導機関)】

連携

指導

【実需者】

5情報共有 調整·情報共有

連携

助言·指導

品種の評価、情報発信

消費者向け商品開発

【品種開発者】

- ・種苗の供給
- 品種情報の提供

| 連携

- 事業実施計画、活動計画の作成・運営
- 各種検討会の開催

連携

・関係機関、参画機関との調整

連携

連携

【各JA】

•各種調査

- 各種検討会への参画 ・産地化に向けた指導
- 【JA宮崎経済連】
- 流通情報の収集 出荷、流通形態の検討
- 【県農産園芸課】 - 各種検討会への参画 振興方針への反映

【総合農業試験場】 ・各種調査、実証へ の助言

課題と今後の対応

【実証結果等の概要】

- ラナンキュラス「ラックス」シリーズについては、長日処 理により年内からの収穫をできることが明らかとなった が、切り花サイネリアは3月からの収穫となったことか ら、早期開花技術の確立が課題として残った。
- 実需者等との意見交換会を通じて、両品目のマーケッ トニーズや今後の見通しを把握することができた。

【今年度の取組】

現地試験(2年目)を行い、開花特性等について引き続 き調査する。